

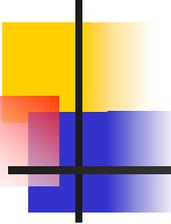
# ASRリサイクル促進に向けて

---

経済学部山口光恒研究会 自動車班

林光史・黒崎国子・関奈保子

・箱田毅大・吉田一星



# ASRリサイクル促進に向けて

---

1. What's ASR?
2. ASRリサイクルの必要性
3. 自動車リサイクル法での対応
4. 今後の検討課題と我々の提案

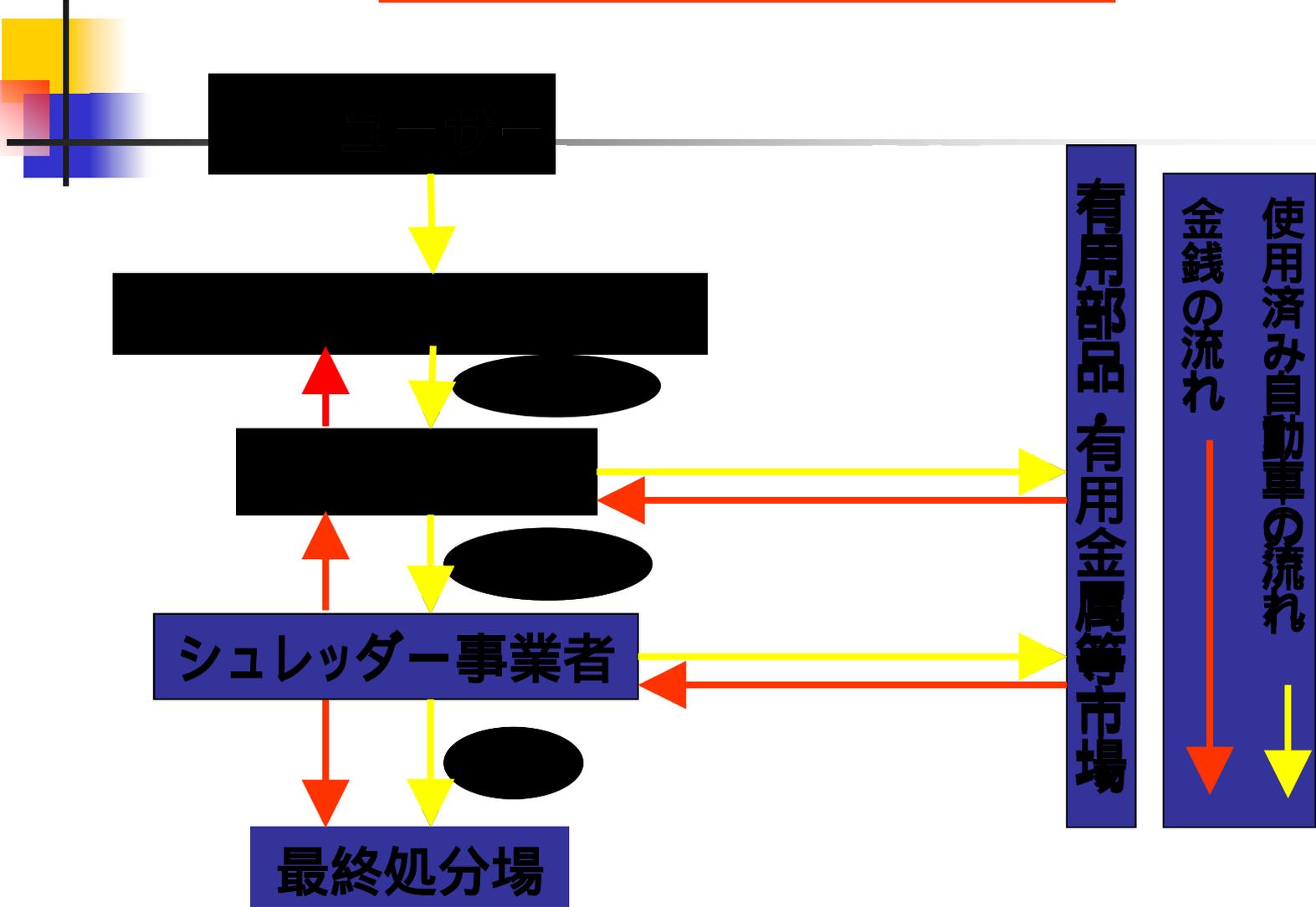
# 1 . What's ASR?

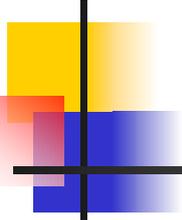
- ASR: Automobile Shredder Residue

使用済み自動車(以下ELV)からできるだけ有用品(鉄、非鉄金属等)を取り除いた後の廃棄物



# これまでのELVとお金の流れ

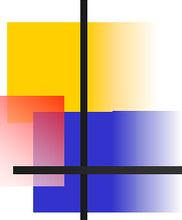




# ASRリサイクル促進に向けて

---

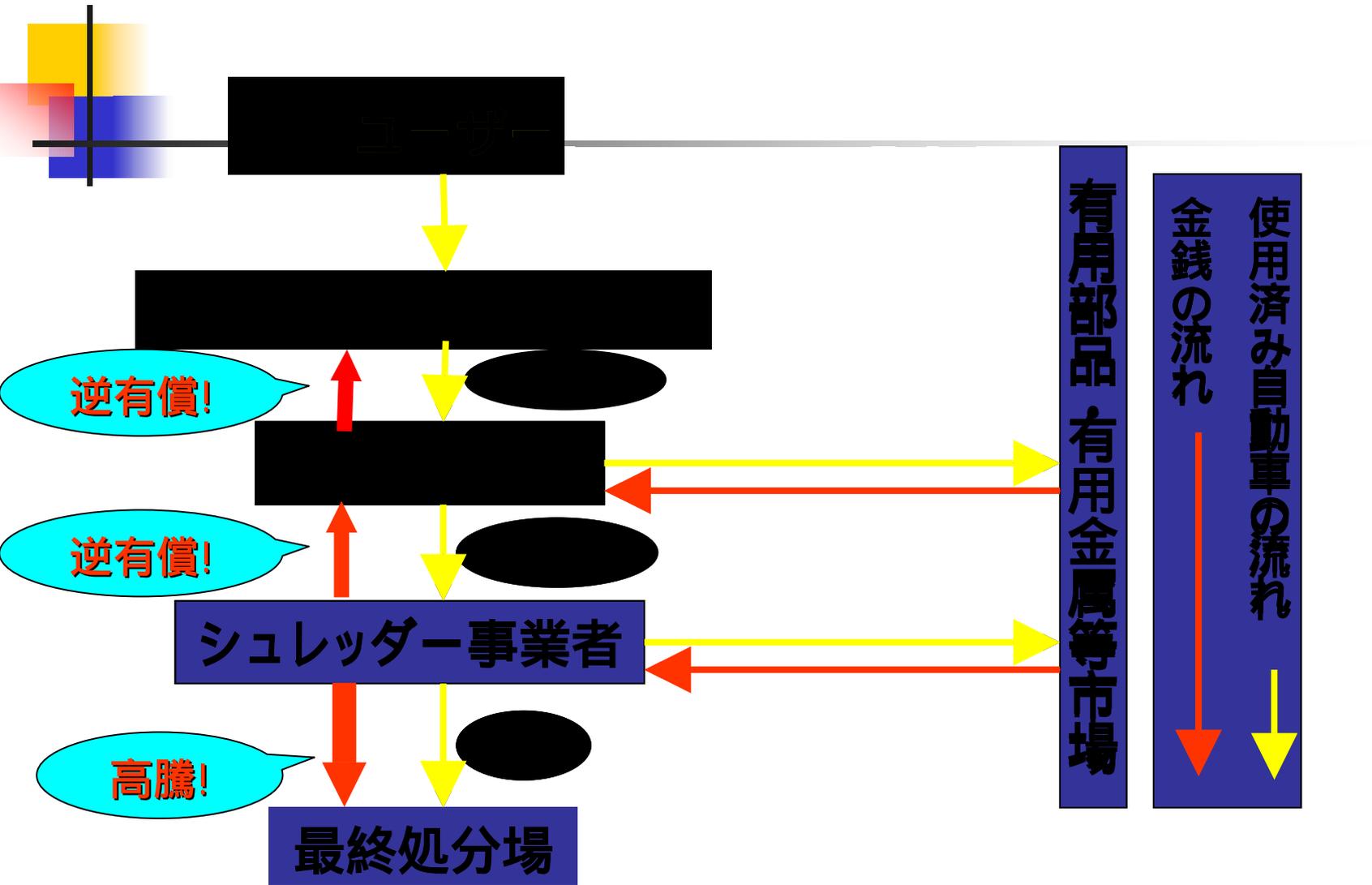
1. What's ASR?
2. ASRリサイクルの必要性
3. 自動車リサイクル法での対応
4. 今後の検討課題と我々の提案

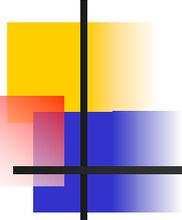


## 2 . ASRリサイクルの必要性

---

- 最終処分場逼迫問題への対処
- ASR処分費用高騰によるELVの逆有償化を解消するため





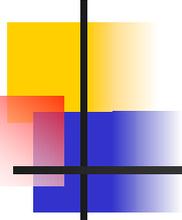
## 2 . ASRリサイクルの必要性

---

リサイクルイニシアチブの制定(1997年)

- ELVのリサイクル率: 2015年以降95%以上
- 現在のリサイクル率: 75 ~ 80%
- 残り $\downarrow$ 20 ~ 25%はASRであり、処分

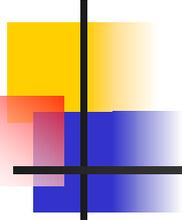
リサイクルイニシアチブの目標を達成するためにはASRリサイクルが必要不可欠!



# ASRリサイクル促進に向けて

---

1. What's ASR?
2. ASRリサイクルの必要性
3. 自動車リサイクル法での対応
4. 今後の検討課題と我々の提案



# 3. 自動車リサイクル法での対応

---

- ASRリサイクル促進  
最終処分場逼迫の改善  
ELVの逆有償の解消

# 3. 自動車リサイクル法での対応

- 誰がリサイクル費用を負担するのか？

自動車ユーザー

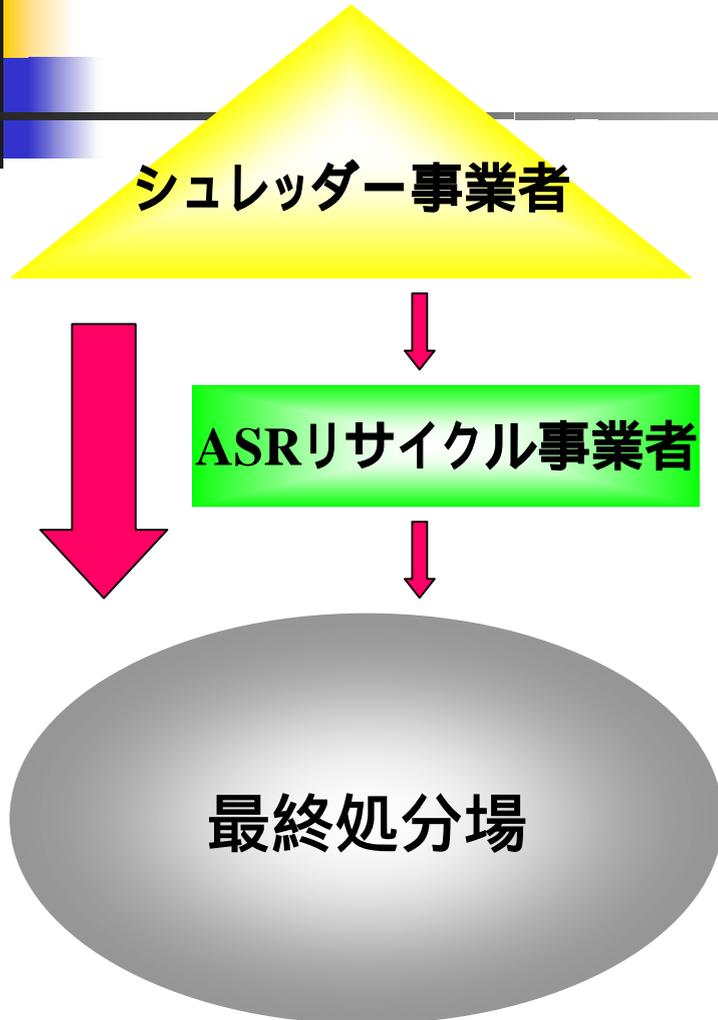
- 誰がリサイクルを行うのか？

自動車製造業者(委託可能)

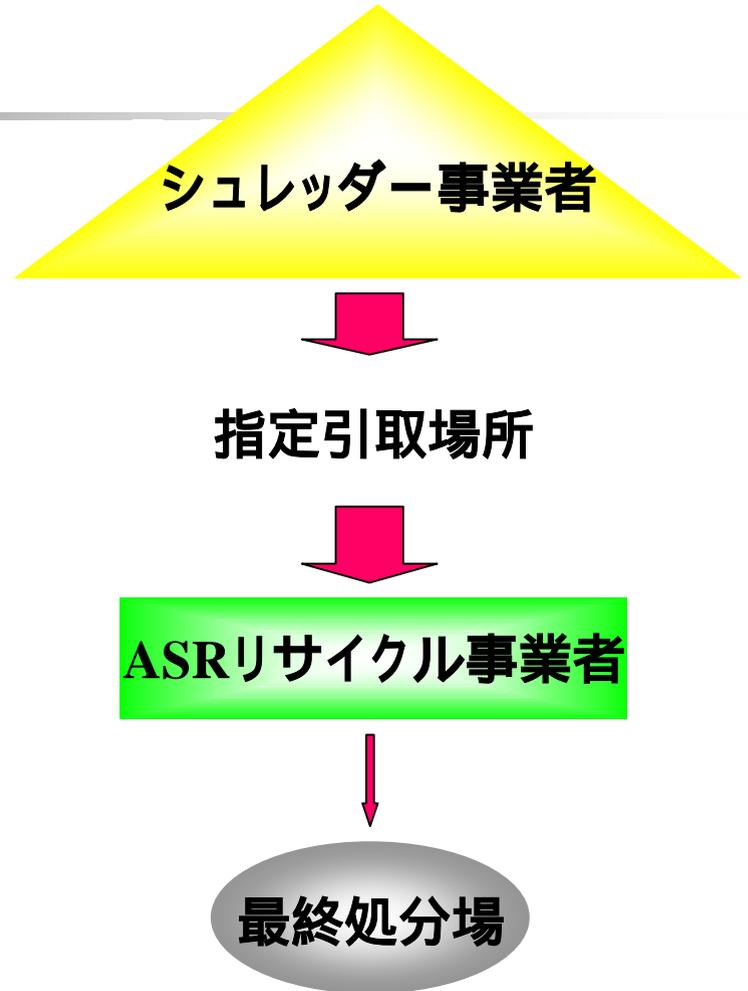
- どこでシュレッダー業者からASRを引き取るのか？

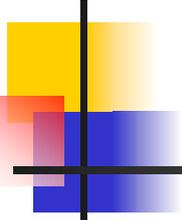
自動車製造業者が定める指定引取場所

# 自動車リサイクル法 施行前



# 自動車リサイクル法 施行後





# ASRリサイクル促進に向けて

---

1. What's ASR?
2. ASRリサイクルの必要性
3. 自動車リサイクル法での対応
4. 今後の検討課題と我々の提案

# 4. 今後の検討課題と我々の提案

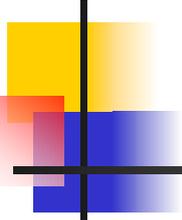
---

ASRリサイクルの確保

↓ Higher Recycling Rate with Lower Cost

今回の我々の提案

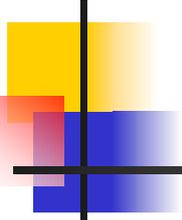
# 4. 今後の検討課題と我々の提案



---

## ASRリサイクルの確保

- ASRリサイクル業者を指定引取場所に設定
- ASRリサイクル業者に許可制導入  
+ モニタリング



シュレッダー事業者

引渡し報告

情報管理センター

ASR

ASRリサイクル事業者  
指定引取場所

許可

引取報告

# 4. 今後の検討課題と我々の提案

Higher Recycling Rate with Lower Cost

リサイクル事業者間の競争が必要

コストダウン

技術革新

競争を促すために・・・

優良な技術開発を支援するファンドを設立

# 自動車リサイクル法 施行前

# 自動車リサイクル法 施行後

シュレッダー事業者

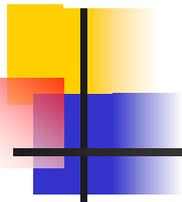
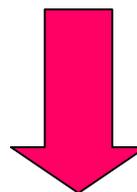
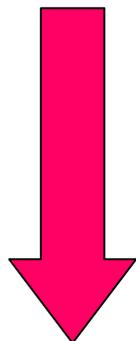
シュレッダー事業者

ASRリサイクル事業者

ASRリサイクル事業者  
(指定引取場所)

最終処分場

最終処分場

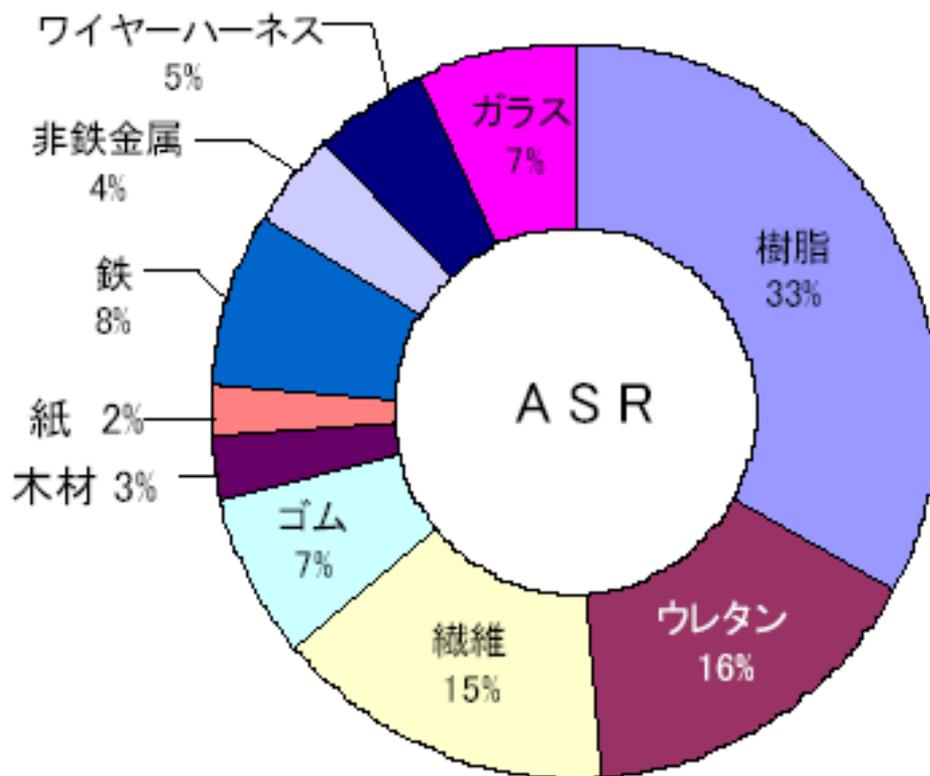


# 4. 今後の検討課題と我々の提案

## 我々の提案

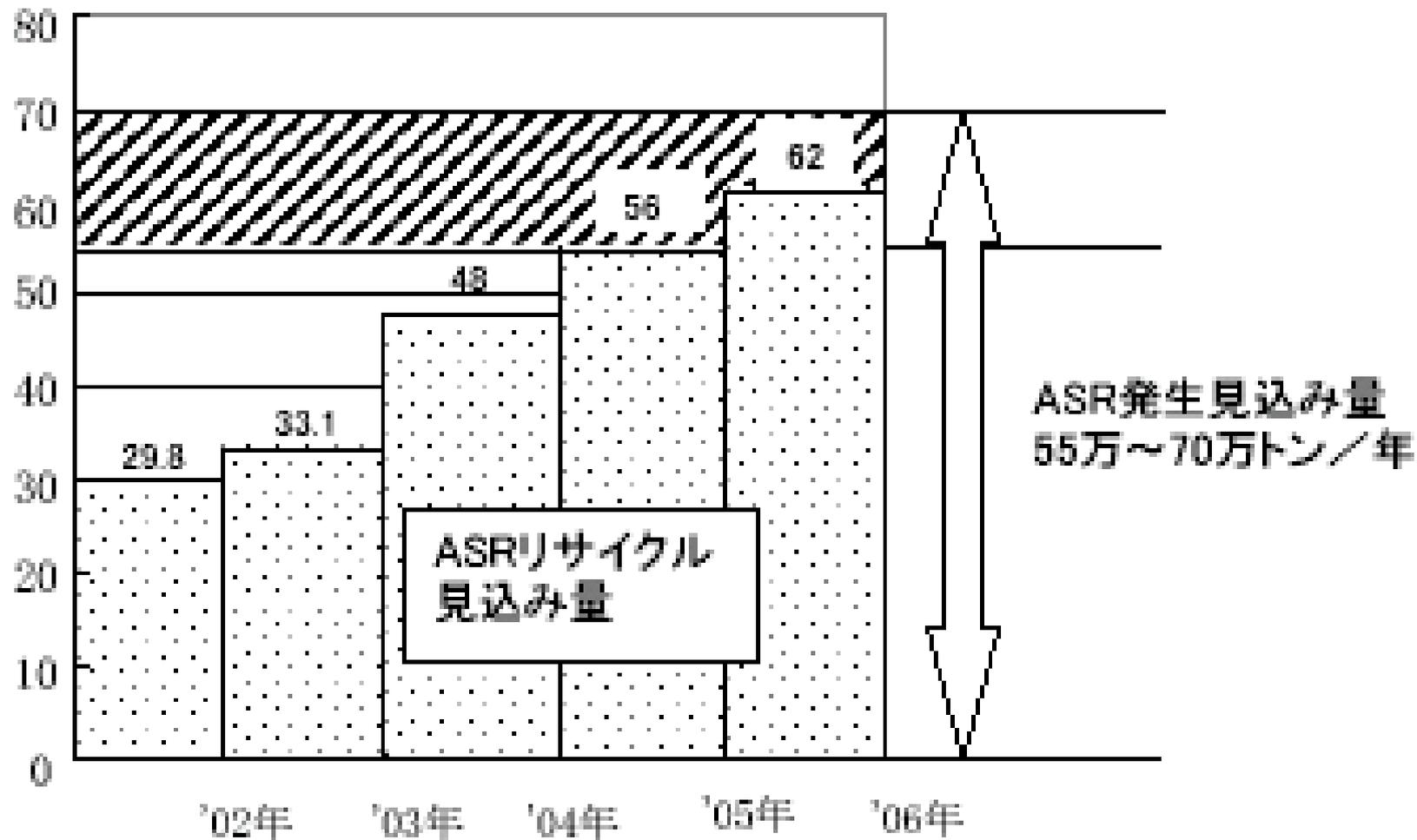
- ASRリサイクル事業者を指定引取場所に設定
- ASRリサイクル事業者に許可制導入
- 優良な技術開発支援のための基金設立

## ASRの構成(例)



出所: 経済産業省ホームページ

万トン/年



出所：経済産業省ホームページ

# 4. 今後の検討課題と我々の提案

## Annex: 指定引取場所の設定

- 最終処分場に設置するのが適当

(理由)

- 既存の流通網を活用できる
- 地理的公平性  
全国に1,100箇所存在('98年度、環境省HP)
- 処理しきれないIASRをすぐに処分できる

自動車ユーザー

シュレッダー事業者

引渡し報告

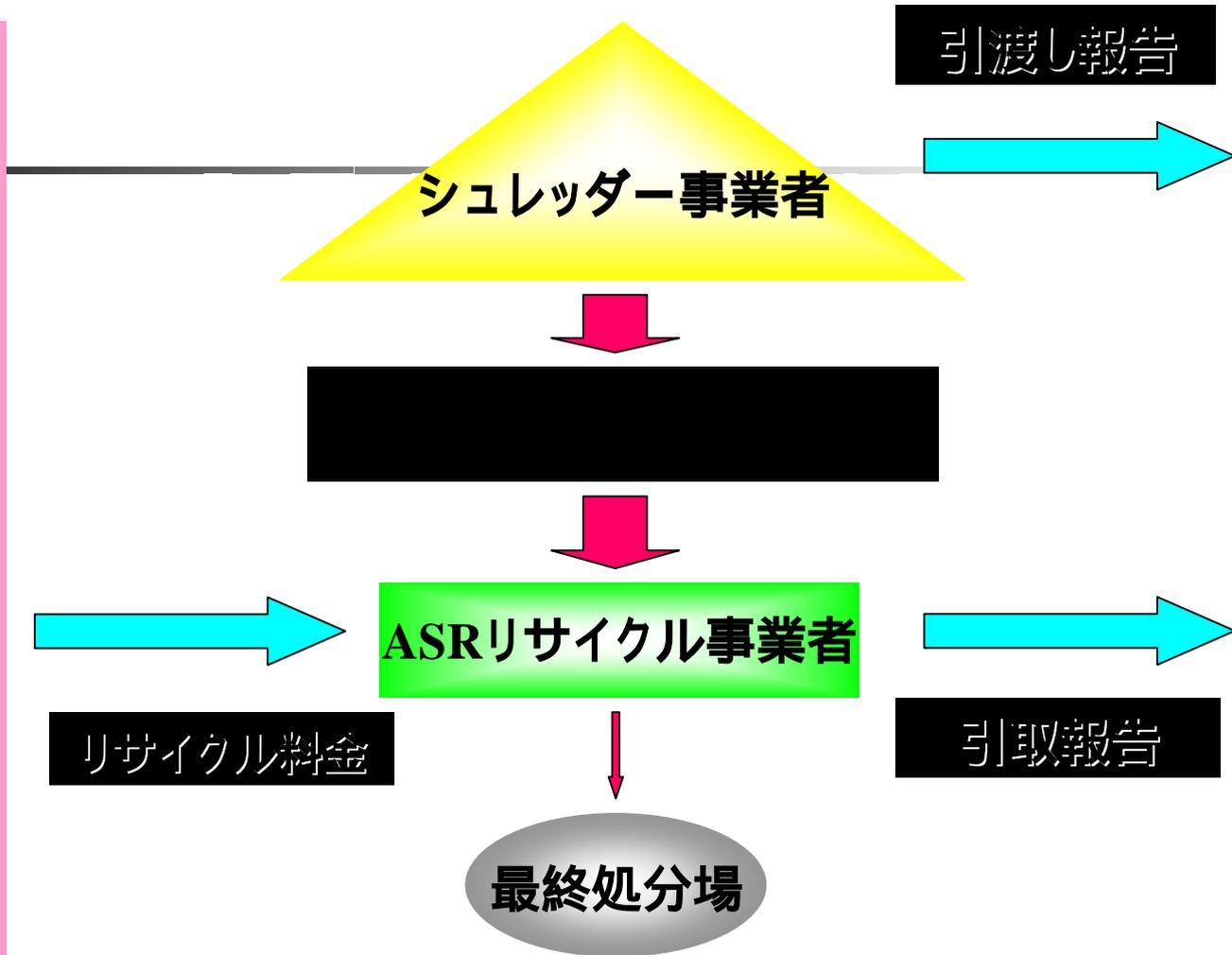
情報管理センター

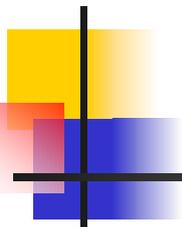
ASRリサイクル事業者

リサイクル料金

引取報告

最終処分場





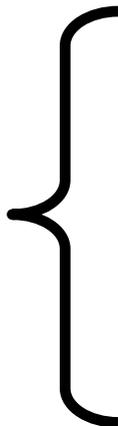
150カ所



1,100



19



# シュレッダー事業の業態推移 (関東地区、昭和45年度～平成12年9月)

単位：円/トン

(注) 日本鉄リサイクル工業会調べ (産機3第1 2回自動車リサイクル小委員会資料(000925))

